

【2024年度/総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等	
教育原理	HLA11-004	選択	2	1.2	前期	
担当教員	研究室	電子メールID	オフィスアワー			
升 佑二郎	B313	y-masu	水曜日 12:10~13:00			
授業の目的・概要	医療や福祉の活動は、そこに携わる者が適切に相手を支えることができるかが課題となる。そこで、この授業では、支援者として教育というものの意味や目的・役割などを正しく理解して臨むこと、支援者としての基本的な姿勢を学ぶことを目的とする。具体的には、学校・家庭・地域社会など様々な場における教育についてグループワークなどを通して幅広く学修する。この授業はオンラインにて実施する。					
授業形式・方法	<input type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習)	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習	<input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実技	<input checked="" type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他（　）	<input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク	<input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート
学習上の助言	自分自身がこれまで受けた教育が、どのように自分自身の中に生かされているかを考えると共に、現代社会における様々な教育に関する問題について、新聞・インターネット等を利用して最新の情報や動きにも目を向けて欲しい。					
教科書	特に指定なし					
参考書	必要に応じて指定する。					
外部教材	必要に応じて指定する。					
学生が達成すべき行動目標					関連卒業認定・学位授与方針	
①	教育とは何かについて考え、人が生きる上で大切な役割を持つことができる。				HUS(1)、(2)、(3)、(5)	
②	教育の役割と医療・福祉の活動場面との結びつきを理解し、説明できる。				HUS(1)、(2)、(3)、(5)	
③	教育の持つ役割が他者との関わりの中で実践できる。				HUS(1)、(2)、(3)、(5)	
④						
⑤						
⑥						
授業計画						
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間(時間)			
1	教育原理の概要について学ぶ。	同時双方 向型授業	講義内容を復習し、講義中に 出された課題を実践する。			
2	教育とは何かについて学習する。	同時双方 向型授業	講義内容を復習し、講義中に 出された課題を実践する。			
3	生活、家庭、文化が学校教育にどう関わっているかを学習する。	同時双方 向型授業	講義内容を復習し、講義中に 出された課題を実践する。			
4	教育を受ける権利について学習する。	同時双方 向型授業	講義内容を復習し、講義中に 出された課題を実践する。			
5	西洋教育思想の源流について学習する。	同時双方 向型授業	講義内容を復習し、講義中に 出された課題を実践する。			
6	宗教と教育について学習する。	同時双方 向型授業	講義内容を復習し、講義中に 出された課題を実践する。			
7	近代教育の思想について学習する。	同時双方 向型授業	講義内容を復習し、講義中に 出された課題を実践する。			
8	新教育の思想について学習する。	同時双方 向型授業	講義内容を復習し、講義中に 出された課題を実践する。			
9	近代学校の誕生と展開について学習する。	同時双方 向型授業	講義内容を復習し、講義中に 出された課題を実践する。			
10	日本における近代以前の人間形成について学習する。	同時双方 向型授業	講義内容を復習し、講義中に 出された課題を実践する。			
11	日本型の学校の形成について学習する。	同時双方 向型授業	講義内容を復習し、講義中に 出された課題を実践する。			
12	戦後の学校について学習する。	同時双方 向型授業	講義内容を復習し、講義中に 出された課題を実践する。			
13	世界の教育問題について学習する。	同時双方 向型授業	講義内容を復習し、講義中に 出された課題を実践する。			
14	日本の教育問題について学習する。	同時双方 向型授業	講義内容を復習し、講義中に 出された課題を実践する。			
15	情報化社会の公教育について学習する。	同時双方 向型授業	講義内容を復習し、講義中に 出された課題を実践する。			
試	達成度評価・評価のポイント参照					

【2024 年度/総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

達成度評価								
総合評価割合 (%)	試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	0	100	100		
総合力指標	知識・技術力	0	0	0	10	10		
	思考・推論・創造する力	0	0	0	20	20		
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	10	10		
	発表・表現伝達する力	0	0	0	10	10		
	コミュニケーション力	0	0	0	10	10		
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	20	20		
	問題を発見・解決する力	0	0	0	20	20		
評価のポイント					フィードバックの方法			
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点						
試験	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
レポート	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
成果発表	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
その他	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
備 考								
他 担 当 教 員	なし							
教員の実務経験	中学校、高等学校教諭免許（保健体育、社会、地理、歴史、公民）を有する教員が授業を行う。							
実践的授業の内容								
そ の 他	グループワークを行う。Teams を使った遠隔授業を行う。 課題ダウンロードや動画視聴などがあるため、通信容量制限がある場合は通信量に十分に注意すること。 今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスを変更する可能性がある。							